

写友会 便り

NO.6 祝卒業号

ロゴ 60P 隅田真悠
イラスト 58P 西本光咲
52P 菱井彩乃



発行日：平成31年3月5日
発行者：大阪市立工芸高等学校内 写友会
大阪市阿倍野区文の里1-7-2
06-6623-0462

写友会とは、大阪市立工芸高等学校の写真工芸科(1957〜1992)映像デザイン科(1993〜)卒業生と職員・旧職員の皆さんで構成される組織です。

最近では、夏の作品指導や工芸展での写友会アワードなど、在校生の皆さんと接する機会も少しずつ増えてきました。

本日は卒業される皆さんは、いよいよ私たち写友会の仲間となりますー！

『写真・映像を通じて母校の発展と社会貢献に寄与することを目指す』としています。(写友会ホームページより抜粋)とあります

映像デザイン科六十期の皆様

「卒業おめでとうございます。同時に新しい旅立ちの日ですね。工芸高校で学んだ広い知識と経験を生かし更なるステージで御活躍下さい。」

私は今年の工芸展写友会フォトアワードの審査で君たちの力強い作品を見ながら工芸生のエネルギーと豊かな発想力に感動しました。

今、近い世代の日本の若者がテニス、卓球、バトミントン、水泳、スノーボードスポーツの世界でも大活躍です。その活躍は全て日々の努力から成るもので、努力は決して裏切りません。芸術の世界でも同じです。

そして、これから色々な人々と出会い、色々な事を経験するでしょう。どんな出会いも、経験も、ひとつとして無駄な事はありません。

これからも「人」を大切にでき、思いやりの心を持ち、努力を忘れない、そんな大人になって下さい。

そしてその第一歩として、卒業された時から、皆様は映像デザイン科OB会『写友会』の一員となり、多くの先輩方と一緒にこれからの工芸生を見守る立場になってくれる事を節に願います。

ただ、まだまだ自分たちの事で精一杯の年代である事も確かです。そんな中で何かをやりたい！やってみたい！こんな時はどうしたら良いの？など、思ったり悩んだりした時は、私たち写友会の先輩にも相談してみてください。一緒に考えて前を向いて共に歩みましょう！

末筆ながら、保護者様におかれましては、お子様のご卒業を慎んでお祝い申し上げます。

この度は、誠におめでとうございます。

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科二十期

写友会会長 前川 政明

六十期生のみなさん、「卒業おめでとう」です。

みなさんがこの工芸高校に入学されて3年が経ちました。入学時の自分と今の自分を比べてみてどうでしょうか？人それぞれ感じ方は違いますが、きつと内容の濃い3年間だったことでしょう。

数多くの課題と向き合った、個性的で最高の仲間たちとは離れてしまうことになりましたが、これからも「人と人のふれあい」を大事にし、いろいろな分野でその才能を存分に発揮していただきたく思います。

これからみなさんの前には必ずと言っていいほど高い壁がやってくるでしょう。今まで培った映像魂をそのまま継承させ、なにごとにも初めから妥協せず、正面から向き合ってください。人間はサボる生き物で、すぐ手を抜いてしまいますが、1日1%の努力の積み重ねで、1カ月後には35%アップのペースができます。それを続けていくのが成長だと思います。

己の力を信じて、失敗を恐れずに前を向いて進んで行ってください。

工芸高校で学んだ3年間は人生の中で見ればたった3年間だったのかも知れませんが、でもこの日々は、どの経験にも代え難いものであったことが、どれぐらい時間がかかるかわかりませんが必ずわかる日がやってきます。決して忘れないでください。

最後になりますが、本日は卒業のみなさんの新しい門出を心よりお祝い申し上げますとともに、私たち写友会の「仲間」になられたみなさんを心より歓迎いたします。ともにがんばってまいります！

大阪市立工芸高等学校 映像デザイン科四十三期

写友会副会長 松下 正広

写友会活動報告

8月17日・8月22日

★写真コンテストアドバイス★

昨年に引き続き、写友会有志のプロカメラマンによる写真コンテスト出品作品アドバイスがありました。



ご指導いただいたプロカメラマンのコメント

フォトコンテストに出す写真を評価して、アドバイスしてやってほしい。突然、恩師からの依頼があり母校に行って来ました。何を表現したいのか本人に聞いても、これといった答えが返ってこないのがほとんどだった中、気になる生徒さんが、タイトル、意図などを聞かなくても写真自体から迫ってくるものがあって、私自身軽く衝撃を受けました。すごいなあ、いい感性してるなあ、俺なんか太刀打ちできひんやん！などと思いつつ、まあここは偉そうにハツタリでもええから適当な事をいいましたが、いやあ、参りました。

そんなこんなで、現役高校生の秘めたるパワーは侮れんなーと感した二日間でした。

後は、これをさらに高めへもっていきけるように指導できる現役の先生方に期待いたします。

写真工芸科二十三期 油谷 一生

一般社団法人大阪青年会議所(JCI)×大阪市立工芸高校映像デザイン科×写友会 コラボプロジェクト！

11月13日 火曜日

★JCIの月例定例会にて活動報告★



来年度も大阪青年会議所のご協力を得て、たくさんの在校生がイベントを通じてさまざまな現場体験ができるように、写友会としてお手伝いをしたいと思っております。

5月のわんぱく相撲大会・8月の平成なにわ淀川花火大会・9月のBREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOでの生徒の撮影作品と感想をDVDにまとめて発表し、記念品を頂きました。

りして、スキルが上がったなとも思いました。プロのカメラを触らせてもらった時は、自分が撮っているところが一瞬使われてとても嬉しかったです。舞台裏からも撮らせてもらえて、前とはまた違うかっこいい写真が撮れてとても良かったです。本当にいい体験をさせてもらいました。ありがとうございました！



参加した生徒の感想

よさこいなどの写真を一千枚以上、これまでにないほどの数撮った中で、上手く撮れていたものを見て嬉しかったし、何枚も撮っていた分、次飛びそうみたいな事が分かって、ジャンプをしている瞬間が上手く撮れた

「大阪のミライを学ぶ 創る 体感する」をテーマにブレ万博として、うめきた第二地区で開催されたイベントにて、映像制作会社の株式会社勝和様のご協力のもと、プロの機材を使わせていただき、VTR及びスチール撮影を担当させていただきました。プロ現場の緊張感を感じた2日間でした。

★BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO★

9月8日・9月9日



花火大会の設営と本番、翌日の片づけまでの撮影に行ってきた。両日ともに猛暑日でしたが、間近で見た花火に歓声も上げながら一生懸命にシャッターを切りました。

★第30回平成なにわ淀川花火大会★

8月4日・8月5日

ゴールデンウィークのど真ん中、府立体育館へわんぱく相撲大会の取材に行ってきました。全国大会を目指す大阪市の小学生を工芸1年生から3年生までの20人が撮影しました。会場内の6つに分けられた土俵上での真剣な取り組み姿だけでなく、周りで歓喜するお母さん、負けた後に悔し涙するちびっこ力士、その大会を陰で支えるスタッフ達、ライブ感あふれる取材が出来ました！

5月3日 ★第37回熱狂！わんぱく相撲★

本年度、映像デザイン科では外部機関とコラボ事業を行うことで、地域貢献ならびに実践的な学習の機会を設けました。大きな柱として大阪JCI(青年会議所)との連携があります。

第71回工芸高校展の開催にあわせ、写友会として映像デザイン科の学生作品を対象に今年も「写友会アワード2019」を開催しました。初日に写友会会員より選出した審査員とゲスト審査員として工芸会会長の中西州氏が参加し、ひとつひとつ丁寧な作品審査を行い、また目を引く作品に対してはコメントを付けて評価しました。どの作品も甲乙付けがたいものでしたが、写真、VTR、CG・DTP部門の各部門賞と工芸会長賞が決定し、最終日に発表ならびに表彰・講評を行いました。個性が出ている作品が数多くあり、私たち会員は在校生からパワーをもらうことができたと思います。各部門賞については、以下のとおりです。

2019年 1月26日・1月27日

写友会アワード2019



【写真部門】

- 金賞 2年生 駒澤 一樹「お好み顔」
- 銀賞 2年生 河畑 友子
「光」、「悪口」、「嫌悪」、「心傷」
(四枚組写真)
- 銅賞 3年生 廣田 湧衣「赤いつながり」



【工芸会長賞】

- 3年生 野中 達也
「包括的観念によるニヒリズムと矜持的ポスト・モダンの考察」



【CG・DTP部門】

- 金賞 2年生 川嶋 壮汰「LOOPER」
- 銀賞 2年生 山口 莉起「きさらぎ駅」
- 銅賞 2年生 井上 琴遥「光を浴びて」

【VTR部門】

- 金賞 3年生 荻野・竹内・野中「間」
- 銀賞 3年生 荻野 友花「Radio Stretch」
- 銅賞 2年生 金山・駒澤・谷岡・富田・松尾・吉野「かわらない」



【奨励賞(1年生より)】

- 大矢 侑実「モノクロライバル」
- 高橋 聖「生命力」
- 富永 葵「雨道」
- 西辻 有紗「影」
- 三宅 由莉「おつかれ」